令和６年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験問題

＜校種・教科専門：養護教員＞

受験番号	

受　験　心　得

開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。

◎注意事項

１　この問題冊子の最終ページは、１０ページです（余白ページを除く。）。

２　試験開始後、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁、乱丁、もしくは解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、黙って手を挙げて、会場の監督員に知らせてください。

３　解答は、すべて解答用紙の所定の欄に指示された方法で記入してください。

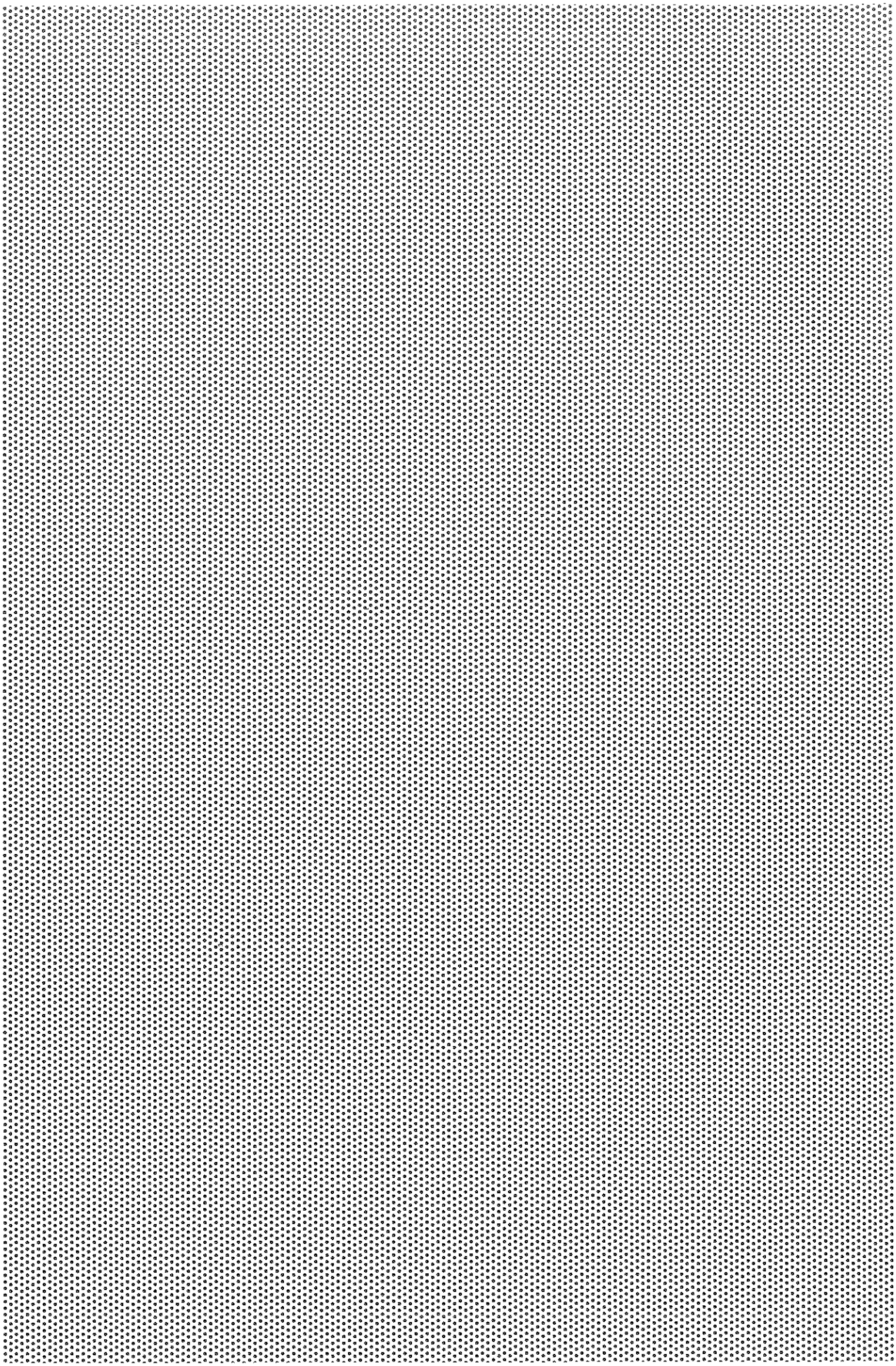
４　問題冊子及び解答用紙の受験番号の欄に、各自の受験番号を記入してください。

５　解答時間は、６０分です。

６　解答用紙の余白にメモ等を行ってはいけません。

７　問題冊子の余白は、メモ等に適宜利用してください。

８　試験終了後、この冊子は持ち帰ることができます。



1 学校保健安全法に基づく児童生徒等の健康診断のうち、尿検査について、次の［問１］、［問２］に答えよ。

［問１］次の文は、尿検査の方法について説明したものである。下の（１）、（２）に答えよ。

方法

尿は、尿中の蛋白、糖等について試験紙により検査する。

・正しい採尿は、就寝前に排尿をさせ、翌朝一番尿を少し排尿してから中間尿を１０ｍｌ程度採尿する。

・女子では採尿日が生理日及びその前後１～２日であれば、別の日に採尿させて検査する。

・蛋白尿は６～１２時間後に［ ① ］することがあるので、検査は採尿した当日（採尿後５時間以内）に完了することが望ましい。

※前日の夕方からの採尿は、尿中にある細菌が［ ② ］して、蛋白尿が誤って出たり、血尿が［ ③ ］したりするので望ましくない。

※尿の潜血反応を陰性化するおそれがあるので、［ ④ ］作用が強いビタミンＣを添加したお茶やウーロン茶、ビタミンＣの含有量の多いジュースや薬剤は飲まないように指導する。

（１）文中の［ ① ］～［ ④ ］にあてはまる最も適切な語句を、次の（ア）～（ケ）の中から１つずつ選び、その記号を書け。

（ア）酸化	（イ）陽転	（ウ）浄化
（エ）還元	（オ）陰転	（カ）繁殖
（キ）死滅	（ク）出現	（ケ）消失

（２）文中の下線部について、中間尿を採尿する理由を書け。

［問２］尿糖陽性者について、次の（１）、（２）に答えよ。

（１）尿糖陽性者のうち、高血糖を伴わずに尿中に糖が認められる病態を何というか、書け。

（２）小学校３年生のある児童が、尿糖陽性であったため、医療機関を受診したところⅠ型糖尿病と診断され、インスリン治療を行うことになった。その際、低血糖にならないよう留意しなければならない。低血糖が疑われる症状としてあてはまるものを、次の（ア）～（ク）からすべて選び、その記号を書け。

（ア）発汗	（イ）口渇	（ウ）多幸感	（エ）上腹部痛
（オ）ふるえ	（カ）徐脈	（キ）会話の停滞	（ク）発疹

2 学校環境衛生について、次の［問１］～［問３］に答えよ。

［問１］次の**表**は、「学校環境衛生基準」（令和四年文部科学省告示第六十号）における「教室等の環境に係る学校環境衛生基準」に示された検査項目と基準の一部である。表中の［①］～［④］にあてはまる数値をそれぞれ書け。

表

検査項目		基準
換気及び保温等	（１）換気	換気の基準として、二酸化炭素は、［①］ppm以下であることが望ましい。
	（２）温度	［②］℃以上、28℃以下であることが望ましい。
	（３）相対湿度	30％以上、80％以下であることが望ましい。
	（４）浮遊粉じん	［③］mg／m³以下であること。
	（５）気流	0.5m／秒以下であることが望ましい。
	（６）一酸化炭素	［④］ppm以下であること。
	（７）二酸化窒素	0.06ppm以下であることが望ましい。
	（８）揮発性有機化合物	
	ア．ホルムアルデヒド	100μg／m³以下であること。
	イ．トルエン	260μg／m³以下であること。
	ウ．キシレン	200μg／m³以下であること。
	エ．パラジクロロベンゼン	240μg／m³以下であること。
	オ．エチルベンゼン	3800μg／m³以下であること。
	カ．スチレン	220μg／m³以下であること。
	（９）ダニ又はダニアレルゲン	100匹／m²以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。

［問２］教室等において燃焼器具を使用していない場合に限り、検査を省略することができる項目を、表中の検査項目（１）～（９）からすべて選び、その記号を書け。

［問３］次の文は、ダニ又はダニアレルゲンの検査方法について説明したものである。文中の［①］、［②］にあてはまる語句または数値をそれぞれ書け。

温度及び湿度が高い時期に、ダニの発生しやすい場所において［①］m²を電気掃除機で［①］分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、［②］測定法によりアレルゲン量を測定する。

3 感染症について、次の[問１]、[問２] に答えよ。

[問１] 次の（１）～（３）の文は、学校において予防すべき第二種の感染症について説明したものである。それぞれの説明にあてはまる疾患名を書け。

（１）潜伏期間は主に７～１０日で、連続して咳き込んだ後、笛を吹くような音を立てて急いで息を吸うような、特有な咳発作が特徴で、本症状は長期にわたって続く。生後３か月未満の乳児では無呼吸発作、脳症などの合併症も起こりやすく、命に関わることがある。

（２）潜伏期間は主に８～１２日で、発熱、咳や鼻水などの呼吸器症状と眼球結膜の充血、目やに、特有な発疹の出る感染力の強い疾患である。ごくまれに罹患から数年後に発症する亜急性硬化性全脳炎（ＳＳＰＥ）の原因になることがある。

（３）潜伏期間は主に４日以内で、発熱、頭痛、嘔吐を主症状とする疾患である。致命率は１０％、回復した場合でも１０～２０％に難聴、麻痺、てんかんなどの後遺症が残る。その中でも急速に重症化が進む場合は、劇症型感染症（ウォーターハウス・フリードリヒセン症候群）とよばれる。

［問２］次の文は、養護教諭が健康診断における結核検診の問診票を確認する際に使用したメモである。下の（１）～（３）に答えよ。

○本人の罹患歴
・なし
→問題なし。
・罹患歴があるが治癒し、治療終了から２年以上経過
→経過観察でよい。
・罹患歴があるが治癒し、治療終了から２年経過していない
→医療機関や保健所に通っていれば経過観察でよい。通っていなければ保健所に相談するよう指導する。
○本人の潜在性結核治療歴（予防投薬歴）
・なし
→問題なし。
・潜在性結核治療歴（予防投薬歴）があるが治療終了し２年以上経過
→経過観察でよい。
・潜在性結核治療歴（予防投薬歴）があるが治療終了し２年経過していない
→医療機関や保健所に通っていれば経過観察でよい。通っていなければ保健所に相談するよう指導する。
○家族等の結核罹患歴
・なし
→問題なし。
・家族等の罹患歴がある
→医療機関や保健所で［①］や指導が行われていれば経過観察でよい。未了であれば保健所に相談するよう指導する。
○結核高蔓延国での居住歴
過去３年以内に結核高蔓延国で［②］か月以上の滞在歴がある場合には、入学時また転入時に１回の精密検査（胸部Ｘ線検査等）の対象となる。
○自覚症状（２週間以上続く咳・［③］）
・なし
→問題なし。
・症状があるがすでに医療機関を受診した
→経過観察でよい。
・症状があるが受診していない
→受診を勧奨する。
○ＢＣＧ接種歴
確認しておく。

（１）文中の［①］～［③］にあてはまる最も適切な語句または数字を書け。

（2）文中の下線部について、既感染者に接種すると、接種後１０日以内に接種部位に発赤・腫脹や化膿等が起こり、通常２週間～１か月以内に治癒する。この現象を何というか、書け。

（3）結核治療においては、服薬を続けることが重要であるため、保健所では服薬支援を行っている。この服薬支援のための取組を何というか、アルファベットで書け。

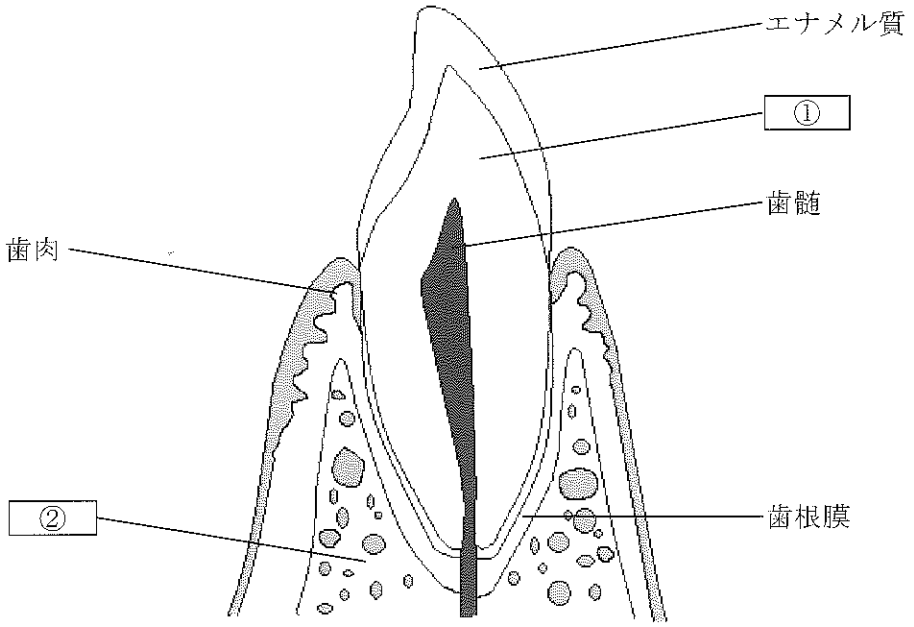
4 歯科領域について、次の[問１]～[問３]に答えよ。

[問１]「児童生徒等の健康診断マニュアル」（平成27年８月 日本学校保健会）における「歯及び口腔の疾病及び異常の有無」に示されている検査の準備についての内容として正しいものを、次の（ア）～（オ）の中からすべて選び、その記号を書け。

（ア）室外から入る光も考慮し、学校歯科医が窓に対して正面を向いて座るように配置する。
（イ）歯鏡は、鏡面に傷のない反射率の十分なもの、一定の大きさのものを使用する。
（ウ）学校歯科医は、指が児童生徒等の口に触れないように、ミラーを両手に持ち、２本のミラーで検査することもあるので、十分な数を用意する。
（エ）使用する探針は先端が鋭利なもの又はWHOのCPIプローブを用いる。
（オ）口腔内を照らすために、常に十分な照度をもったスポット照明器具を準備する必要はあるが、口腔内が３００ルクス以下になるよう留意しなければならない。

[問２]次の**図**は、下の前歯の断面図である。図中の［①］、［②］にあてはまる語句を書け。

図



［問３］次の（１）、（２）の文は、歯列・咬合の不正の症状について説明したものである。それぞれの説明にあてはまる歯列・咬合の不正の分類名を書け。

（１）隣同士の歯が互いに歯の幅の１/４以上重なり合っているものである。隣接面のむし歯や歯肉炎の危険因子となるため、注意が必要である。

（２）上顎の左右中切歯間に隙間（６ mm以上）があるものである。歯の数の異常（過剰歯や側切歯の先天欠如など）と関連していることがある。また、審美的な問題が生じやすく、発音にも影響しやすい。

5 アレルギーについて、次の［問１］～［問３］に答えよ。

［問１］食物アレルギー表示対象品目として表示の義務を定められている特定原材料８品目のうち、次に示す５品目以外の３品目の名称をすべて書け。

小麦　乳　えび　かに　くるみ

［問２］口腔アレルギー症候群は、花粉－食物アレルギー症候群であることがほとんどである。花粉のアレルギーがある場合、その花粉抗原と構造が似た物質を含む生の果物や野菜を食べたときに、食後５分以内に口腔内のアレルギー症状が誘発されることがある。この反応を何というか、書け。

［問３］次の（１）～（３）の緊急性が高いアレルギー症状への対応として、安静を保つための最も適切な体位を、下の（ア）～（カ）の中から１つずつ選び、その記号を書け。

（１）ぐったりして、意識朦朧の場合
（２）吐き気、嘔吐がある場合
（３）呼吸が苦しく仰向けになれない場合

（ア）腹臥位	（イ）ショック体位	（ウ）回復体位
（エ）膝屈曲位	（オ）半座位	（カ）仰臥位

6 薬物乱用について、次の［問１］～［問３］に答えよ。

［問１］平成２４年から令和３年における薬物事犯検挙人員の推移についての説明として正しいものを、次の（ア）～（エ）の中から１つ選び、その記号を書け。

（ア）薬物事犯全体の検挙人員は、近年急増している。

（イ）覚醒剤事犯の検挙人員は増加傾向である。

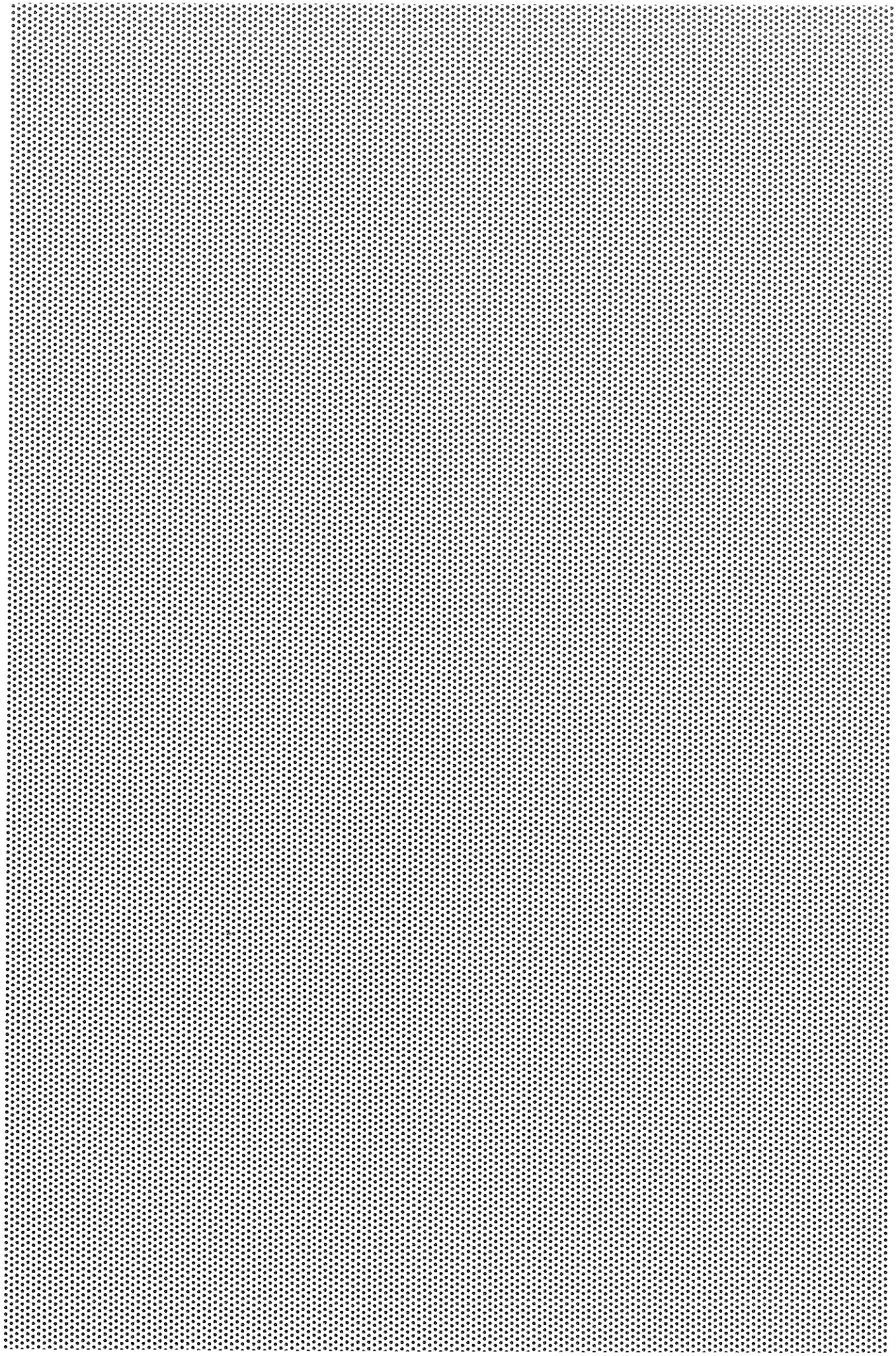
（ウ）薬物事犯全体の検挙人員のうち、半数以上は覚醒剤事犯である。

（エ）大麻事犯の検挙人員は全体では横ばいであるが、２０歳未満の検挙人員は増加している。

［問２］次の文は、「第五次薬物乱用防止五か年戦略」（薬物乱用対策推進会議　平成３０年８月）の一部である。文中の［ ① ］、［ ② ］にあてはまる語句を書け。

> 目標１
> 青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止
> （１）学校における薬物乱用防止教育及び啓発の充実
> 〈略〉
> ・薬物乱用防止教室は、［ ① ］に位置付け、すべての中学校及び高等学校において年１回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努める。
> 〈略〉
> ・教員以外の指導者による効果的な指導に必要な薬物乱用に関する最新の知見のみならず、児童生徒の［ ② ］、学校における指導状況等への理解を深めるため、国、都道府県、関係機関等が開催する研修会の充実を図る。

［問３］自傷行為のひとつとも考えられ、処方薬や一般用医薬品等を、決められた量や回数を守らず過量服薬することを英語で何というか、カタカナで書け。



令和6年度　和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験

校種別		教　科	養護に関する専門科目	1枚のうち1

1	問1	(1)	①	(オ)	②	(カ)	③	(ケ)	④	(エ)		3点×4
		(2)	雑菌などの混入をなるべく避けるため。									4点
	問2	(1)	腎性糖尿									4点
		(2)	(ア)，(エ)，(オ)，(キ)									4点（完答）
2	問1	①	1500		②	18	③	0．10（0．1も可）				5点（完答）
		④	6									
	問2	(6)，(7)										4点（完答）
	問3	①	1		②	酵素免疫						3点×2
3	問1	(1)	百日咳		(2)	麻疹（麻しん，はしかも可）	(3)	髄膜炎菌性髄膜炎				3点×3
	問2	(1)	①	接触者健診	②	6	③	痰				4点（完答）
		(2)	コッホ現象									4点
		(3)	DOTS									4点
4	問1	(イ)，(ウ)										3点（完答）
	問2	①	象牙質		②	歯槽骨						3点×2
	問3	(1)	叢生（そう生も可）		(2)	正中離開						3点×2
5	問1	そば			卵		落花生（ピーナッツ）					4点（完答）
	問2	交差反応										4点
	問3	(1)	(イ)		(2)	(ウ)	(3)	(オ)				5点（完答）
6	問1	(ウ)										4点
	問2	①	学校保健計画		②	発達段階						4点（完答）
	問3	オーバードーズ										4点